

平成28年度「県民との協働推進モデル事業」 県政課題の詳細

県政課題	背景及び趣旨	NPO法人等に求めたいこと
<p>① 子どもや子育て家庭が気軽に利用できる居場所の整備</p> <p>【担当課】 健康福祉部 青少年家庭課</p>	<p>・共働き家庭やひとり親家庭の増加により、放課後児童クラブの利用児童は増えているが、受け皿は十分でなく、放課後や長期休暇中に安心して過ごせる場所が不足している。</p> <p>・少子化や核家族化、地域社会の人間関係の希薄化により、異世代の子どもや地域住民と関わる機会が減少しており、子育て家庭が孤立し、子育ての負担感や不安感が増加している。</p> <p>・経済的理由による栄養不足や孤食、学力低下などの課題を抱えた子どもが増加しており、子どもの貧困が社会問題化している。</p> <p>・「子ども・子育て支援新制度」など公的な制度が充実しつつあるが、すべてをカバーすることはできず、地域全体での子育て支援が必要となっている。</p> <p>・子どもたちが心身共に健やかに成長し、安心して子育てができる環境をつくるため、地域住民が主体となって子どもや子育て家庭が気軽に利用できる居場所を整備していく必要がある。</p> <p>＜居場所のイメージ＞ 対象:多様な世代が誰でも気軽に利用可能 居場所で行うこと:遊び、各種体験、学習支援、食事の提供など、地域の実情に応じたもの</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所づくりのためのネットワーク構築（民間団体、行政等） ・子どもの居場所の運営、管理 ・問題を抱える子どもの発掘 ・地域内外への情報発信
<p>② 起業家を育成する環境づくり</p> <p>【担当課】 商工労働部 産業振興課</p>	<p>廃業件数が起業件数を大幅に上回る中、地域経済を維持・拡大するためには、新たな担い手となる起業家を増やすことが重要である。そのため、地域において、起業を目指す人を、身近な関係機関が連携し、継続的な支援をする環境を整備することが必要であり、セミナーや個別相談などに取り組まれている。</p> <p>しかし、実際には、事業性の高いビジネスプランの作成やスタートアップに必要な取引先や協業者などのネットワーク構築は困難であり、起業に至るケースは少ない。</p> <p>起業希望者とビジネスの現場を結び付ける「交流の場」、「成長の場」が求められている。</p>	<p>起業家精神の涵養、起業に必要な情報の収集・交換、メンターとの交流、ビジネスプランのブラッシュアップなど、起業家の成長の場として機能する起業希望者と先輩起業家の交流拠点づくり</p>